

浜松中RC  
地区/新世代委員長  
中村 智次 様

## 新世代委員会活動について

～インターアクト・ローターアクトについて～



地区につきましては、「インターアクト」「ローターアクト」の2つの小委員会から成り立っています。

インターアクトは12歳から18歳までの生徒が中心となっています。以前は高校生を中心としていました。元々設立したのはアメリカで、青少年の奉仕、将来のリーダーを育てる事を目的としています。7573クラブ/17万4200人、日本では544クラブ/1万4568人、2620地区では20クラブ/391人となっています。

ローターアクトは18歳から30歳までのメンバーです。インターアクトと比べて、メンバーを集めにくい状況となっています。

## 日本との講和条約 ～スリランカ大統領のお話の紹介～

スリランカの現大統領(当時セイロン政府大蔵大臣)であるJ.R.Jayewardene氏が、1951年9月6日サンフランシスコに於ける日本との平和条約締結調印会議で行ったスピーチです。このスピーチから色々な事が分かりました。戦勝国である、アメリカ、ソ連、イギリス、中国が条文作りに力を持って進めていました。

セイロンからスリランカになった初代大統領がこの大統領で、非常に日本が好きだったようです。今から15年程前に亡くなりました。

一副大統領および各友人諸君:

平和条約草案の承認にお集まりの51カ国の人達を前にしてセイロン政府の見解を述べる機会を与えられた事は私にとって非常に光栄なものと存じます。

私の申し上げることは此の条約を承認するその理由と又此の条約の批判的な数点について釈明をもちたいと思います。私はセイロン政府の為だけしか発言し得ませんが、アジアの人達の日本の将来について一般的な感じ方を、声を大にして述べ得ると確信します。私達が今審議中の平和条約が最終草案に上がる迄の経緯について言及する必要はありません。アメリカ代表のダレス氏と英国代表のヤング氏が、1945年8月の日本の降伏から始めて、充分かつ公正なる説明をされました。

しかし此の条約の草案の作成にあたって、四大強国の間に大きな意見の相違があったのは、看過できぬ事であります。ソ連は、四大強国のみが一即ちアメリカ、英国、支那及びソ連が草案作成に…… 〈省略〉

### 委員会報告

・親睦委員会 (井尻委員長)

10/18 日本平RCとの合同例会 (GES第4分区歓迎会)  
出欠の確認、3千円の集金を9/27、10/4にさせていただきます。多数様のご出席をお願いいたします。

### 出席報告..... 針谷委員長

	月/日	総会員数	出席者 合計	会員欠席	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	8/26	46名	20名	17名	——	(1名)	——
前 回	8/30	46名	36名	8名	——	( 名)	——
本 日	9/6	46名	37名	5名	88.0%	( 名)	——